



×

参加費
無料

ORIST技術セミナー

健康で豊かな生活を実現するバイオテクノロジー関連技術
～ SDGsの目標達成とポストコロナ禍への寄与 ～

日時

2023年11月16日(木) 13:00～16:20

会場

大阪産業創造館（4階イベントホール）

2016年に国連が2030年までに解決すべき17の目標をまとめたSDGs（持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals）は、産業界から各家庭まで、広く浸透しつつあります。

ここで重要なのは「持続可能」というキーワードです。とくに、パンデミックに伴い、「持続可能」は脅かされることになりました。私たちは、自然の恵みを最大限に享受し、生活を営んでいます。地球も経済も、持続可能でこそ、豊かな未来が実現します。

SDGs中の多くの目標への貢献、さらには、これまでの生活を一変させた新型コロナウイルス感染症に対し大きく寄与できる技術として、バイオテクノロジー関連技術が大きくフォーカスされています。

大阪産業技術研究所では、SDGsが設定される以前から、SDGs中の目標と調和できる、さらには新型コロナウイルス感染症に間接的に寄与できる研究・開発を行ってきました。

本セミナーでは、これまでに健康や生活に密着した研究開発課題として取り組んできましたバイオテクノロジー関連技術開発について、最新の研究成果や技術情報を紹介します。

【主催】 地方独立行政法人 大阪産業技術研究所
大阪産業創造館（公益財団法人 大阪産業局）

【参加費】 無料

【定員】 70名

【申込方法】 ホームページ、またはQRコードにて
URL：<https://orist.jp/>

大阪技術研

検索



会場へのアクセス
大阪市中央区本町1丁目4-5



お問合せ

○お申込み・会場関連 大阪産業創造館 イベントセミナー事務局
TEL：06-6264-9911
URL：<https://www.sansokan.jp/>

○講演会関連 地方独立行政法人大阪産業技術研究所 企画部 辻谷
TEL：06-6963-8331
URL：<https://orist.jp/>



プログラム

1. あいさつ

13:00~13:05

理事長 小林哲彦

2. 「にのいの分析方法と、消臭・防臭・芳香性能評価方法」

13:05~13:50

高分子機能材料研究部 研究部長 喜多幸司

にのいの分析は、嗅覚を利用する官能評価と機器分析に大別されます。ここでは、ガスクロマトグラフ質量分析計およびガスセンサアレイによる機器分析法を中心に説明します。また、外部の依頼を受けて当所で多数実施しています、消臭・防臭・芳香製品の性能評価方法について、事例をあげて詳細に説明します。

3. 「ポリフェノールの酸化架橋を利用した製品開発」

13:55~14:40

生物・生活材料研究部 生物化学研究室 主任研究員 山内朝夫

植物に含まれるポリフェノールは、多彩な機能を持つため古くから活用しており身近な成分です。今回、ポリフェノールの特性とその用途について解説するとともに、当研究所で発見した架橋技術を紹介します。キノン架橋と呼ぶ本技術は、食感改良剤や接着剤として利用できるだけでなく、毛髪を補修する技術として製品化しました。

4. 「皮膚細菌叢を制御する脂質の開発」

14:45~15:30

生物生活材料研究部 研究部長 永尾寿浩

人に常在する微生物と健康・疾病の相関関係の研究が進展し、全ての微生物を一律に除去する時代から、疾病に関与する微生物（悪玉菌）だけを除去し、健康に寄与する微生物（善玉菌）を残してそれらの潜在力を人の健康や生活などに活用する時代になりました。本講演では、皮膚細菌叢（スキnfローラ）を制御する脂質の開発について紹介します。

5. 「過硝酸殺菌技術ープラズマから生まれた新しい殺菌剤ー」

15:35~16:20

応用材料研究部 環境化学・バイオ研究室 研究室長 井川 聡

硝酸の過酸化化物である過硝酸（ HOONO_2 ）は高い殺菌力と安全性を併せ持つユニークな物質です。また、過硝酸は使用後に短時間で分解して無害化するため、環境適合性にも優れます。本講演では、過硝酸を用いた医療機器の滅菌や皮膚消毒、歯科治療、農業分野などへの応用研究について、具体例を挙げながら説明します。

